

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

医薬品の製造・供給や開発による疾病の治療や感染症の予防、新生児マスキングによる患者 QOL の向上や動物用ワクチンの開発・供給を通じた食の安全への貢献。さらに顧客や株主等、ステークホルダーと連携して、地域にとどまらず、世界の人々の「健康で豊かな未来」に貢献できる企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
○環境 ◎社会 ◎経済	医薬品の開発・製造・供給を通じた社会課題(感染症・希少疾病・難病対策)の解決 ① 新型コロナワクチンの開発 ② 新規ワクチン・新規製剤開発テーマの着実な進捗 ③ 新生児先天性代謝異常等の早期発見・早期治療開始による患者 QOL の向上	① 自社で開発した新型コロナワクチンを可能な限り早期に供給を開始する。 ② 新規開発テーマを計画通りに進捗させる ③ 新生児マスキング検査対象疾患の計画に沿った拡大
◎環境 ○社会 ○経済	環境への配慮 ① CO ₂ の排出量削減 ② 総使用電力量に占める再生エネルギーの割合 ③ 空調機器の更新による特定フロン全廃	① 2023年までに 2015 年度比 7.5%以上削減 ② 2023 年に 15%以上 ③ 計画に従い、2023 年までに 60 台の空調機器を更新(29 年までに 461 台を全廃)
○環境 ◎社会 ○経済	豊かな社会づくり ① 働きやすい職場づくり ② 健康経営の推進 ③ 顧客との良好なコミュニケーション ④ 社会貢献活動の実施	① 多様性の尊重の実現(女性活躍、障がい者雇用)等 ② 健康優良法人ホワイト 500 の認証継続 ③ 顧客の意見を反映した製品・資材の改良を行う等 ④ ボランティア活動・学校での出張授業等を実施等

<パートナーシップ>

医薬品の開発・生産・供給に向け、製造業者である当社と国や自治体、取引先や顧客等との間で信頼関係を構築するとともに、従業員との信頼関係を維持するため、働きやすい職場環境づくりの整備を図る。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業や NPO 法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

○登録番号: 号

<SDGsに関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

- ・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。
- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。